

地域と地域間の経済学 FH44 041 / K84 1401

第 3 学期 火曜 1, 2 限 (2 単位)

対象 : 主として 2, 3 年生

担当教員 :

土井正幸 3F 1212 電話 853-5546

E-mail doi@sk.tsukuba.ac.jp

教科書 : 坂下昇・土井正幸著『地域経済学』東洋経済新報社 (2006 年発行予定)

参考書 :

H. アームストロング & J. テーラー著 (坂下昇監訳)『地域経済学と地域政策』流通経済出版会、2000 年

土井正幸・坂下昇著『交通経済学』東洋経済新報社、2002 年

太田博史著『地域・都市・交通分析のためのミクロ経済学』東洋経済新報社、2002 年

授業概要・教育目標 :

地域経済問題・政策に関する基礎的な知識と考察力を養成する目的で、地域経済の分析、地域間経済の分析、そして地域産業構造の分析に渡って、問題構造の理解と分析手法の習得を達成する。

授業計画 :

第 1 週	地域所得 (ケインズ・モデルと高次所得効果)
第 2 週	地域所得 (漏損と多地域モデル)
第 3 週	地域成長 (新古典派成長理論)
第 4 週	地域成長 (内生成長理論、地域成長の計測)
第 5 週	地域雇用と失業 (労働需給、失業のメカニズムと対策、オークンの法則)
第 6 週	地域間格差 (立地商、ジニ係数、アトキンソン指標、タイル指数など)
第 7 週	地域間交易 (各種交易理論、空間価格均衡理論による交易分析・評価)
第 8 週	地域間経済均衡 (人口移動の市場均衡と社会的最適の分析・政策)
第 9 週	産業連関分析 (均衡産出量分析の基本モデルと政策示唆)
第 10 週	産業連関分析 (均衡価格分析と政策示唆、高度応用モデルの概要)

成績評価 : クラス参加、練習問題、期末試験などにより総合評価。

備考 : ミクロ経済学の基礎を学んでいることが、できれば望ましい。